

9月8日(日) 人権講演会

「ストレスに弱くなっている現代っ子とどう向き合うか？」

講師への質問・回答

質問1 上手な叱り方があればアドバイスをお願いします。


回答 昔に比べて「ほめて育てる」時代に育った世代は叱責に対するストレス耐性が弱い人たちが増えているように思います。叱られるとストレスがそのまま貯めこまれるため、「教え導く」とする「叱られ」でも萎縮してしまい、かえって逆効果となります。「やる気にさせるほめ方」を宝物にしなが、【ほめる→叱る→ほめる】といった順序で叱るのが効果的です。

質問2 人をいじめている側への対応は？

回答 圧倒的多数ではないですが、『孤独感』・『欲求不満』・『嫌悪感』・『反発』など様々な気持ちを重なり合わせて持っていることが多くあり、指導をするというスタンスではなく、その子どもの気持ちをくみ取れるかわりが必要となります。子どもの生活実態を把握しながら、いじめの非人間性を話し、他人の痛みを理解できるような言葉かけを大切にしてください。



講師：片田 珠美さん

実施期間	2013年度人権交流センターロビー展示
2014年 1月17日(金) ～ 2月21日(金)	 <p>「福山市老人大学の作品展示」</p> <p>仕事をしているときにはなかなかできなかった趣味や学習などのやってみる。そんな生涯学習の楽しさを作品を通じて紹介します。</p>

インフォメーション!

2013ふくやま人権大学 セミコース

誰も教えてくれなかった 部落問題

～がんじがらめの社会にレッドカード！～

インターネットや雑誌で見たり聞いたりしたことはあるけれど、イマイチなんだかよく分からない。日本にしかない人権問題なら、もう少しきちんと知っておきたい。だけど、誰に聞いていいのかも分からない…。そんなモヤモヤした気持ちを出しあう場ができました。世の中に生きづらさを感じながら、日々暮らしている人が元気を出すための講座です。

日時	テーマ	講師・コーディネーター	内容
11月 15日(金)	「ブラクサベツはまだあるの？」 という問いにどう答えますか 一部落問題を知るためのヒント	岡野 保洋さん	ワークショップ形式で部落問題の偏見について考えます。
11月 22日(金)	カミングアウトすることの意味 ～隠しきれないこの社会で～	武田 緑さん (BURAKU HERITAGE)	被差別の当事者が自分自身を語るとはということかについて考えます。
12月 13日(金)	ポジティブシンキング で考える人権 ～この社会を生きる必須アイテム～	藤井 滋登さん	生きづらい世の中を生きていくために私たちにできることを考えます。

場 所：福山市人権平和資料館（福山市丸之内1-1-1）

時 間：各回とも19:30～

定 員：30名 受講料：無料

申込み・問い合わせ先：人権推進課
(TEL 928-1006)

★3回すべて受講できる人を優先します。★手話・要約筆記が必要な方はお申し出ください。